

第1日 3月28日(金)

受付 12:10~12:50

研究発表 I

	A会場(大講義室)	B会場(101講義室)	C会場(102講義室)	D会場(201講義室)	E会場(206講義室)	F会場(208講義室)
13:00 ~ 14:30		現代<A/E>部会 美術/教育において求められる創造性と人間像とは 神野真吾 谷口幹也	アートセラピー研究部会 アートセラピーが美術教育に果たす役割と可能性 栗山裕至	高校美術研究部会 高等学校「美術I」初回授業の教育的意義 清田哲男	授業研究部会 実践を研究にするワークショップ -	
14:40 ~ 15:10	図画工作科に対する教育親の相違と教員養成の果たす役割 ~現職教員対象の聞き取り調査をもとに~ 隅敦(富山大学)	『新定画帖』における手工科への転移に関する一考察 平野英史(東京学芸大学/研究員)	中学生の美術科に関する課題価値についてI 花輪大輔(北海道教育大学)	デジタルの「つくる」を考える 浅野恵治(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)	英語による図画工作科の授業内容の一考察 藤井康子(大分大学)	
15:15 ~ 15:45	高校生の制作したデジタルイメージに関して一素材の質感化の観点から一 足立元(日本文理大学)	大学における普通教育としてのアート・エデュケーション 千葉アートネットワーク・プロジェクトの取り組みを事例として 神野真吾, 縣拓充(千葉大学)	玉ころがしの教材開発一小学校での工作実践一 宮崎藤吉(元 生駒市立生駒小学校)	高等専門学校における美術教育の役割と授業改善の試み 上山輝(富山大学)	版に表す題材の研究 藤原逸樹(安田女子大学)	地域と工芸文化に関する研究 一現代の赤穂緞通における伝承一 高嶋忍(奈良女子大学)
15:50 ~ 16:20	からだ・気づき・対話のアート教育 III 郡司明子(群馬大学)	アート・ワークショップの変容体験と相互浸透についての考察 笠原広一(福岡教育大学)	オリジナルと二次創作の比較から美術批評の能力を育む方法論について 一“鳴子こけし”をもとに一 和田学(筑波大学)	土粉あそびの実践報告 江村和彦(名古屋経営短期大学)	幼児期における造形活動と発達研究に関する検討 金子優人(宇都宮大学大学院)	“ものづくりにある人づくり”(1) 一燕市の伝統工芸「鍮起銅器」をもとに一 林筱蓉(上越教育大学)
16:25 ~ 16:55	子どもの絵における空間表現の発達と指導 ~「食事の風景」の絵を通して~ 阿部宏行(北海道教育大学岩見沢校)	単元構成における「題材」概念の成立と変容過程の研究(2) 山田一美(東京学芸大学)	“身体性”に基づく作品との対話 長井理佐(東京女子体育大学)	乳幼児の描画と発達 角地佳子(大阪国際大学短期大学部)	視覚障害者のための触擦本について 岩崎清(ギャラリーTOM)	絵画における美的感覚の発達について 平野友史子, 前田基成(女子美術大学大学院美術研究科)
17:00 ~ 17:30	日本美術の諸様式の記述言語調査 一美術史記述コーパス及び学習者コーパスの構築・分析を通して一 有田洋子(島根大学)	プラチナ・トーク<特別招待発表> 美術教育の戦略はいかに可能か 一連載に書かなかったこと一 那賀貞彦(大阪教育大学名誉教授)	国際バカロレア中等課程プログラムの改訂について 小池研二(横浜国立大学)	重度・重複障害児の造形活動に関するアクション・リサーチ 池田吏志(広島大学)	子どもたちの造形活動と地域をつなぐ試み 一伝統的なモチーフを生かす一 笹原浩仁(福岡教育大学)	

理事会 17:50~19:50